

目標達成計画

作成日: 平成 22年 10月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		スプリンクラー・自動火災通報システムが未整備となっている。	平成22年度の整備に向けて計画中		
2	35	消防署の指導の下に利用者の避難実施をして頂いた事が無い。	利用者ひとりひとりの避難方法を検討し実際に避難訓練を行ってみて、避難に有する時間を測定してみる。	避難計画の見直し。 近隣の方への協力要請。	6ヶ月
3	33	重度化や終末期の看取りについて管理者、スタッフと話し合っているが、利用者、家族の希望、支援のあり方等勉強が必要。	利用者、家族の希望、今後の支援や終末期について話し合い家族と共に勉強していく。あらゆる機会を通してご家族との橋渡しを積極的に押し進めながらできるだけ情報を共有していく。	日頃から今後の支援や終末期について話し合いを設け本人、家族の意思を確認する。日々のバイタルチェック、排便、水分チェック等体調観察、把握する。緊急時には医療機関との連携、家族との連絡がスムーズに行えるよう日常から関わりを密にする。	12ヶ月
4	49	外出の機会を設けている時間が作れていない。外出する利用者は決まっておき、他利用者への配慮、声かけの工夫が出来ていない。重度化が進み、スタッフの手が足りないのも一つの課題である。	スタッフ間で支援の工夫を話し合い、外出する機会を増やし、気分転換、思い出を作っていく。	地域行事、買い物等、積極的に行う。長時間困難な利用者には、日光浴や近場の散歩等取り入れる。	12ヶ月

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
4	4	概ね2カ月に1回の開催が出来ていない 1) 日々の生活支援や急務に追われ調整出来ずに少しずつ日が延びてしまっている 2) 積極的に解決を求める議題も無く、現状に満足してしまっている状況 3) 参加して頂くには目的を持ったものでありたいと考えている	概ね2カ月に1回の開催に努める	1) 調整を積極的に行なっていく 2) 現状に満足することなく運営推進会議の根本的な意味を理解し改めていく 3) 運営推進会議の主旨の理解を偏らせず取り組んでいく	10ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。